

日本農学アカデミー 第 23 回総会報告

日本農学アカデミー事務局

第 23 回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面議決にて開催された。会員数 220 名に対し、書面提出数（書面表決書）151 枚、未回答 69 枚であった。総会では、

- ①令和元年度事業報告（案）
- ②令和元年度収支決算（案）
- ③令和 2 年度事業計画（案）
- ④令和 2 年度予算（案）
- ⑤第 11 期役員（案）
- ⑥特別顧問の推薦

について審議が行われ、すべての議案において、賛成 151 票・反対 0 票で承認された。総会に先立ち、7 月 2 日にオンラインで開催された理事会には、理事 20 名、監事 2 名が出席した。

例年、総会後に開催されていたミニシンポジウムならびに懇親会は中止とした。

日本農学アカデミー第 23 回総会 次第

日本農学アカデミー第 23 回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議にて開催することとする。

1 議案

- 第 1 号議案 令和元年度事業報告（案）について
- 第 2 号議案 令和元年度収支決算（案）について
- 第 3 号議案 令和 2 年度事業計画（案）について
- 第 4 号議案 令和 2 年度収支予算（案）について
- 第 5 号議案 第 11 期役員承認について
- 第 6 号議案 特別顧問の推薦について
- その他

4 配布資料

- 資料 1 日本農学アカデミー第 23 回総会 総会資料
 - 1-① 令和元年度の入退会者一覧
 - 1-② 令和元年度収支決算（案）
 - 1-③ 監査報告書
 - 1-④ シンポジウム（案内）
 - 1-⑤ 令和 2 年度収支予算（案）
- 資料 2 第 11 期役員名簿（案）
- 資料 3 会長・副会長経験者の特別顧問への推薦について

日本農学アカデミー第 23 回総会 総会資料

【第 1 号議案】令和元年度事業報告（案）について

1 会員数の状況：正会員 205 名、特別顧問 11 名、賛助会員 3 団体

(令和元年度末現在、年度末退会者数は反映済)

令和元年度の入会者 27 名、退会者 15 名（資料 1-①参照）

2 ミニシンポジウムの開催

「情報通信技術の進展と食料・農業・農村」

日時：令和元年 7 月 21 日（土）14：00～17：00

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟 2 階中島董一郎記念ホール

内容：農業・農村の多様性と ICT イノベーション

大政謙次

スマート農業と次世代稲作経営

南石晃明

農業水利システムへの ICT 水管理技術の導入

高木強治

3 シンポジウムの開催

(1) 「ICT が変える食料・農業・農村」

日時：令和元年 11 月 3 日（日）13：00～17：00

場所：東京大学農学部弥生講堂

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

内容：コミュニティベース精密農業の課題と展望

澁澤 栄

スマート農業の現状と展望

南石晃明

水利システム管理における問題点と ICT 利用の現状、今後の展開方向

高木強治

デジタルコミュニケーション技術を活用した新たな農村計画のビジョン

鬼塚健一郎

スマート農業技術開発の現状と今後の課題

原田久富美

(2) 「家族経営農家の飽くなき挑戦と地域創生」

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和 3 年 3 月に開催延期。

~~日時：令和 2 年 3 月 7 日（土）13：00～17：30~~

場所：東京大学農学部弥生講堂

主催：公益財団法人農学会、日本農学アカデミー

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

4 学術シンポジウム等の後援及び助成

理事会の承認を受け、次のシンポジウム等の後援及び助成を行った。

(1) 「土は持続可能な開発目標（SDGs）にどう役立つか」

日時：令和元年9月2日（月）13：00～16：00

場所：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議土壌科学分科会・IUSS 分科会

共催：日本農学アカデミー、日本土壌肥料学会、国連大学

経費負担：3万円

(2) 「気候変動適応に関する農業分野（民間）の取り組み」

日時：令和元年10月30日（木）13：00～18：00

場所：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、環境学委員会環境科学分科会

後援：日本農学アカデミー、北海道大学大学院農学研究院 他

経費負担：なし

(3) 「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2019」

日時：令和元年11月30日（土）13：00～17：00

場所：福島大学 L1 教室

主催：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会、国立大学法人福島大学

後援：日本農学アカデミー、公益社団法人日本水産学会 他

経費負担：3万円

(4) 「わが国の水産養殖の未来像」

日時：令和元年12月19日（木）13：00～17：00

場所：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議食料科学委員会水産学分科会

後援：日本農学アカデミー、水産・海洋科学研究連絡協議会 他

経費負担：3万円

(5) 「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望」

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年8月10日オンライン開催に変更。

~~日時：令和2年2月24日（月）13：00～17：30~~

場所：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会

後援：日本農学アカデミー、日本薬学会、日本農学会 他

経費負担：3万円

5 総会、理事会等の開催

(1) 幹事会の開催

日時 平成31年4月17日(水) 15:00~17:00

場所 東京大学農学部フードサイエンス棟1階会議室

(2) 理事会の開催

日時 令和元年7月21日(日) 10:00~12:00

場所 東京大学農学部フードサイエンス棟1階会議室

(3) 第22回総会の開催

日時 令和元年7月21日(日) 13:00~14:00

場所 東京大学農学部フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

6 会報の発行

令和元年度は、第31号(6月)及び第32号(12月)を作成し、ホームページに掲載した。

7 アカデミー便りの発行

会員間の情報共有のため、毎月発行し、会員に郵送した。

8 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報やシンポジウムの案内を掲載するなど、内容の充実を図った。

【第 2 号議案】令和元年度収支決算（案）について

（資料 1－②及び 1－③参照）

【第 3 号議案】令和 2 年度事業計画（案）について

- 1 会員の拡大
- 2 会報の作成
- 3 シンポジウム（11 月）の開催（資料 1－④参照）
- 4 学術シンポジウムの助成及び後援
- 5 総会、理事会等の開催
- 6 ホームページの充実
- 7 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出
- 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

【第 4 号議案】令和 2 年度収支予算（案）について

（資料 1－⑤参照）

【第 5 号議案】第 11 期役員承認について

理事の交代。

（資料 2 参照）

【第 6 号議案】特別顧問への推薦について

会長 1 期、副会長 2 期以上の経験者を特別顧問へ推薦する「理事会申し合わせ」を規定したことに伴い、次の 4 名の会員を特別顧問とする。

(1) 古在豊樹、(2) 唐木英明、(3) 西澤直子、(4) 西野伊史 （敬称略）

（資料 3 参照）

令和元年度の入退会者一覧

令和元年度入会者 (27名)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 荒尾 知人 | 11 佐々木 良治 | 21 福田 晋 |
| 2 池田 素子 | 12 佐藤 晃一 | 22 村上 章 |
| 3 石塚 真由美 | 13 三本木 至宏 | 23 森上 敦 |
| 4 井手 任 | 14 高梨 祐明 | 24 湯川 智行 |
| 5 遠藤 良輔 | 15 高山 弘太郎 | 25 横山 芳博 |
| 6 川北 一人 | 16 塚本 康浩 | 26 吉田 穂積 |
| 7 木村 吉伸 | 17 筒井 俊之 | 27 吉永 優 |
| 8 熊谷 日登美 | 18 堤 伸浩 | |
| 9 小迫 孝実 | 19 土居 邦弘 | |
| 10 佐々木 長市 | 20 中井 裕 | |

(敬称略)

令和元年度退会者 (15名)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 朝岡 潔 | 11 山崎 耕宇 |
| 2 石毛 光雄 | 12 山本 徳司 |
| 3 氏原 和人 | 13 吉澤 結子 |
| 4 輿水 肇 (逝去) | 14 木村 真人 |
| 5 長峰 司 | …2018年度末で退会扱 |
| 6 並河 鷹夫 | 15 瀬尾 康久 |
| 7 野並 浩 | …2018年度末で退会扱 |
| 8 濱岡 隆文 | |
| 9 平井 篤志 | |
| 10 山口 勇 | |

(敬称略)

日本農学アカデミー 2019年度収支決算書 (案)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差 額 ①-②	備 考
I 収入の部				
会費収入	2,050,000	2,240,000	△ 190,000	正会員分 2,09,000円 賛助会員分 15,000円
預金利息	100	101	△ 1	
当期収入合計 (A)	2,050,100	2,240,101		
II 支出の部				
会議費	407,500	454,316	△ 46,816	幹事会、理事会、総会、 シンポジウム開催費
諸謝金	200,000	140,000	60,000	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	86,100	66,050	20,050	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	10,000	8,433	1,567	事務用消耗品
印刷製本費	30,000	53,259	△ 23,259	シンポジウムチラシ・ポスター、 封筒
図書購入費	892,800	977,280	△ 84,480	月刊「学術の動向」購入費 (@480*2,036)
学会等助成費	150,000	120,000	30,000	シンポジウムの助成金 (@30,000*4件)
ホームページ管理費	120,000	123,124	△ 3,124	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞共催負担金	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	36,400	32,225	4,175	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (B)	2,332,800	2,274,687		
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 282,700	△ 34,586		
前期繰越額 (D)	2,241,248	2,241,248		
次期繰越額 (E)=(C)+(D)	1,958,548	2,206,662		

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	0
郵便貯金	74,978
三井住友銀行普通預金	1,131,684
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	2,206,662

監査報告

日本農学アカデミー令和元年度収支決算について監査した結果、適正に会計処理されていることを認めます。

令和2年6月12日

日本農学アカデミー

監事 小泉 健 

監事 梅本 雅 

秋のシンポジウムについて

「農学分野におけるウイルス病とのたたかい（仮）」

日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）13：00～17：15

場所：オンライン開催

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン（予定）

プログラム（仮）：

【基調講演】東京大学生産技術研究所特任教授 甲斐知恵子

【家畜・家禽】（国研）農研機構動物衛生研究部門ウイルス疫学研究領域長 真瀬昌司

【水産（魚介類）】東京海洋大学海洋生物資源学部門教授 佐野元彦

【昆虫】東京大学大学院農学生命科学研究科准教授 勝間 進

【植物】北海道大学農学部植物病原学研究室教授 増田 税

【総合討論】司会：日本農学アカデミー副会長 鳥居邦夫

開催方法は、オンライン開催を予定。詳細は、今後の動向を見極めて決定する。

- ①事前登録制による WEB 配信。
- ②演者は、弥生講堂から講演を行うか、リモートで講演を行う。
- ③外部の進行サポートも検討。
- ④広報を十分におこなう。

日本農学アカデミー 2020年度収支予算

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収 入 の 部		
前年度からの繰越金	2,206,662	
会費収入	2,175,000	正会員、賛助会員
預金利息	100	令和元年度実績(101円)
収 入 合 計 (A)	4,381,762	
II 支 出 の 部		
会議費	200,000	幹事会、理事会、総会、シンポジウム開催費
諸謝金	100,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	135,100	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	10,000	事務用消耗品
印刷製本費	55,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	1,036,800	『学術の動向』購入費(@480*2,160冊(180冊/月))
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金(@30,000×5件)
ホームページ管理費	125,000	ホームページ更新料等((公財)日本学術協力財団)
日本農学進歩賞協賛金	100,000	(公財)農学会
業務委託費	200,000	事務管理費((公財)日本学術協力財団)
振込手数料	36,400	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	
支 出 合 計 (B)	2,248,300	
次年度への繰越金(A)-(B)	2,133,462	

第 11 期日本農学アカデミー役員（案）

（令和 2 年 7 月〇日）

会長・理事	大政 謙次	日本学術会議連携会員、高崎健康福祉大学農学部長
副会長・理事	大杉 立	日本学術会議第二部会員、東京農業大学客員教授
副会長・理事	佐々木昭博	東京農業大学参与・客員教授
副会長・理事	生源寺眞一	日本学術会議連携会員、福島大学農学群食農学類長
副会長・理事	鳥居 邦夫	（株）鳥居食情報調節研究所所長
副会長・理事	長澤 寛道	元東京大学農学生命科学研究科長、前（公財）農学会会長
理事	石塚真由美	日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院教授
理事	岩永 勝	（国研）国際農林水産業研究センター理事長
理事	勝田 真澄	（国研）農研機構理事
理事	門脇 光一	（国研）農研機構理事
理事	倉田 のり	日本学術会議連携会員、国立遺伝学研究所名誉教授
理事	沢田 治雄	前（国研）森林研究・整備機構理事長
理事	嶋田 透	日本学術会議連携会員、学習院大学教授
理事	進士五十八	福井県立大学長
理事	寺島 一男	前（国研）農研機構理事
	→中島 隆	（国研）農研機構理事
理事	中嶋 康博	日本学術会議連携会員、東京大学大学院教授
理事	中谷 誠	（国研）農研機構副理事長
理事	松田 幹	福島大学農学群食農学類教授
理事	和田 時夫	日本学術会議連携会員、 （一社）漁業情報サービスセンター会長
理事	渡部 終五	日本学術会議連携会員、北里大学特任教授
監事	梅本 雅	（国研）農研機構理事
監事	小泉 健	（公社）農業農村工学会専務理事

（五十音順）

会長・副会長経験者の特別顧問への推薦について

会長 1 期、副会長 2 期以上の経験者を、特別顧問へ推薦する「理事会申し合わせ」に基づき、以下の方々を特別顧問へ推薦する。

(昨年度総会にて、報告事項として処理したため、今年度総会にて、改めて諮り、承認手続きを行う。)

【候補者】(4 名)

第 8・9 期 会長	古在豊樹
第 3・4・5・6 期 副会長	唐木英明
第 7・8・9 期 副会長	西澤直子
第 8・9 期 副会長	西野伊史

(敬称略)

(参考)

【特別顧問】(11 名)

會田勝美／佐々木恵彦／鈴木昭憲／祖田 修／常脇恒一郎／林 良博／別府輝彦／
三輪睿太郎／山下興亜／山田康之／和田光史

(敬称略)